

鳥獣保護管理人材育成研修 (イノシシ)



栃木県林業センター 丸山哲也

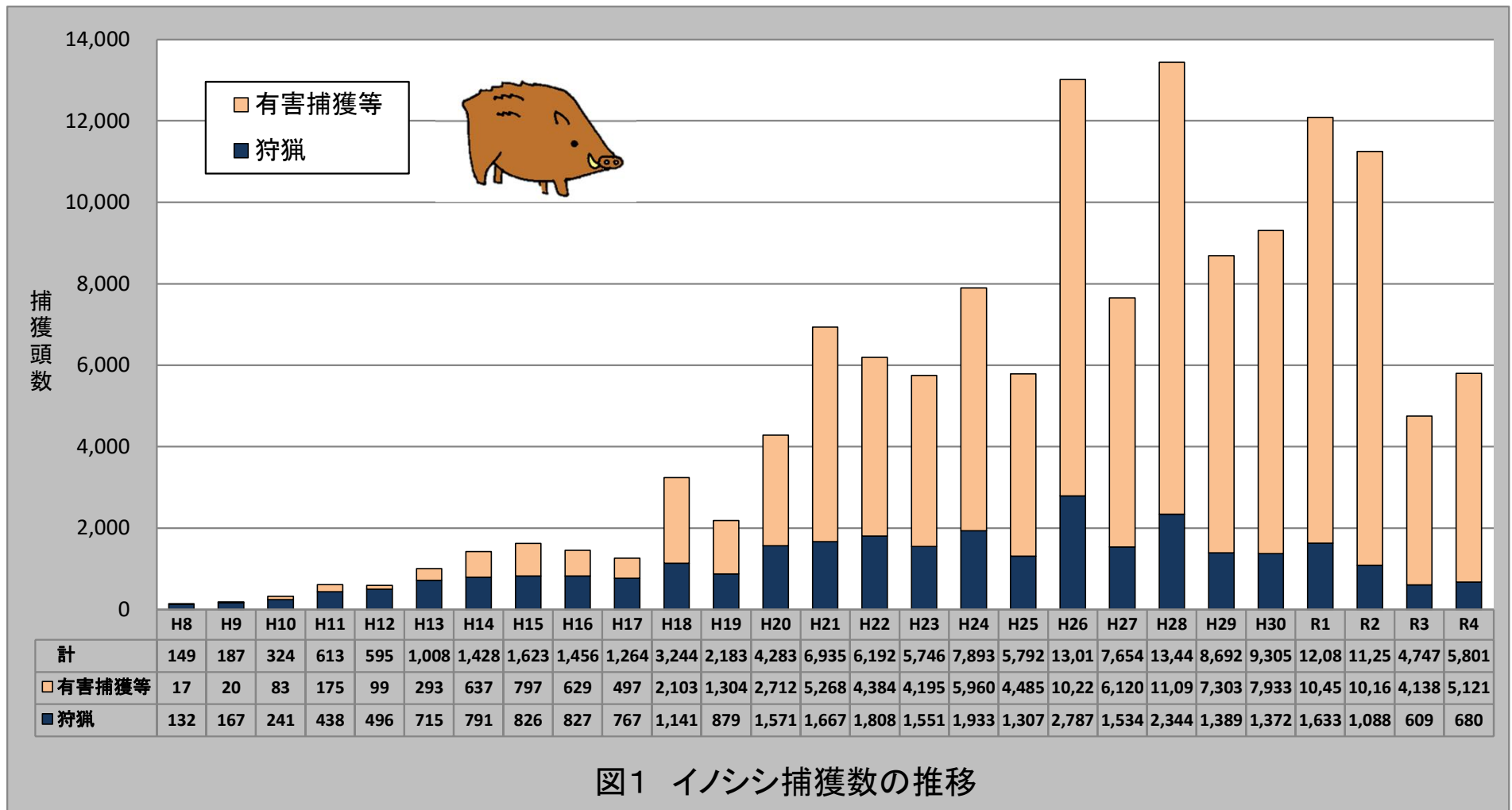
栃木県の位置と地形



50km

Google
サテライト

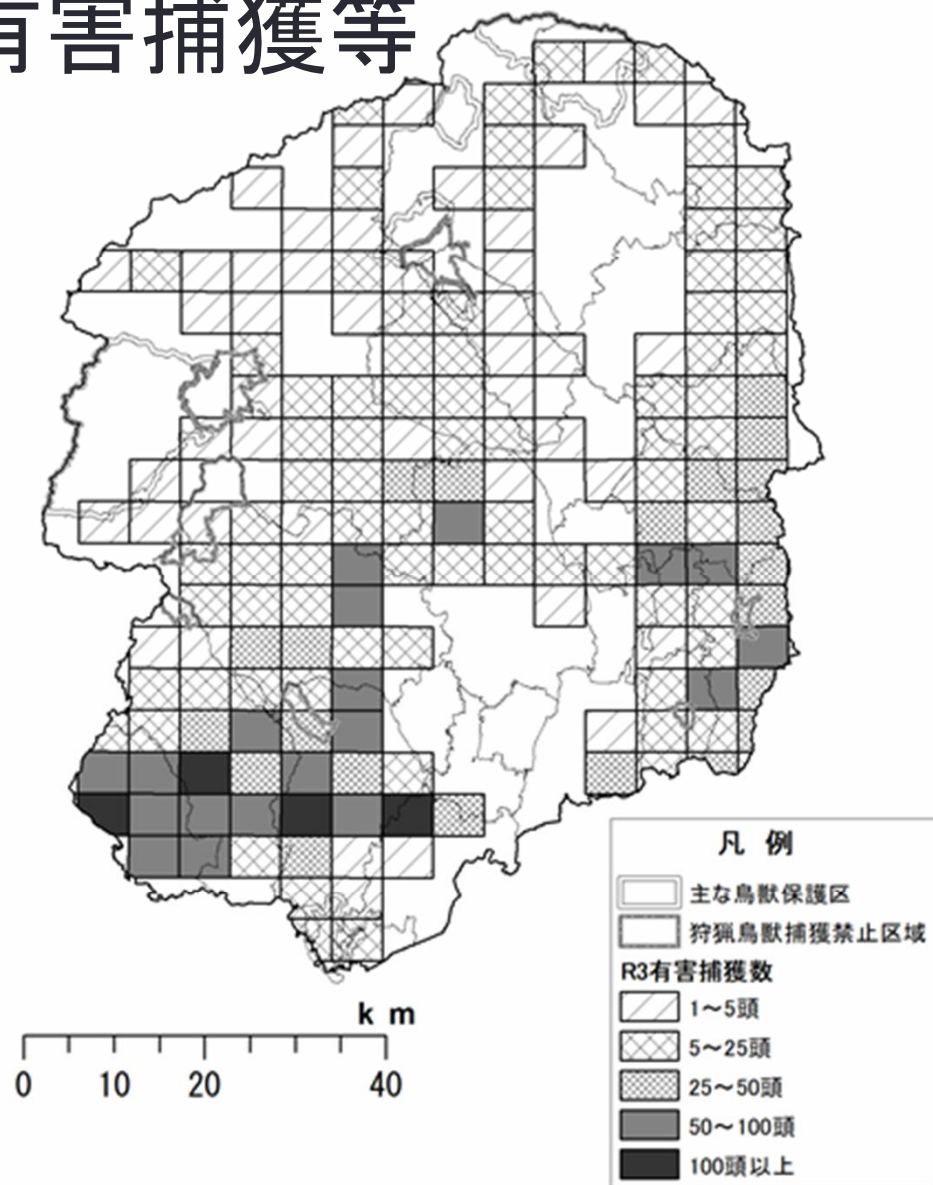
捕獲状況



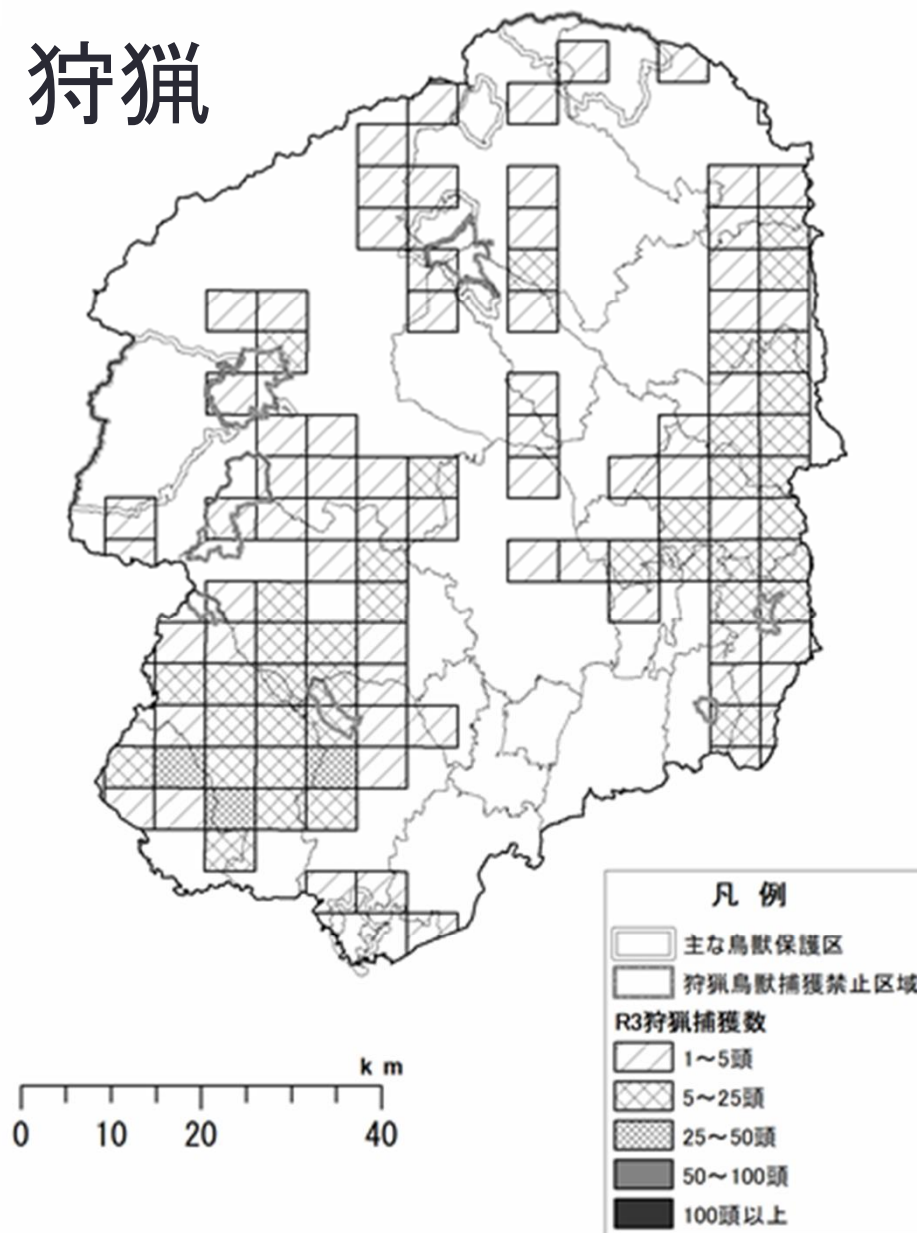
R3以降の捕獲は大きく減少

捕獲の分布(令和3年度)

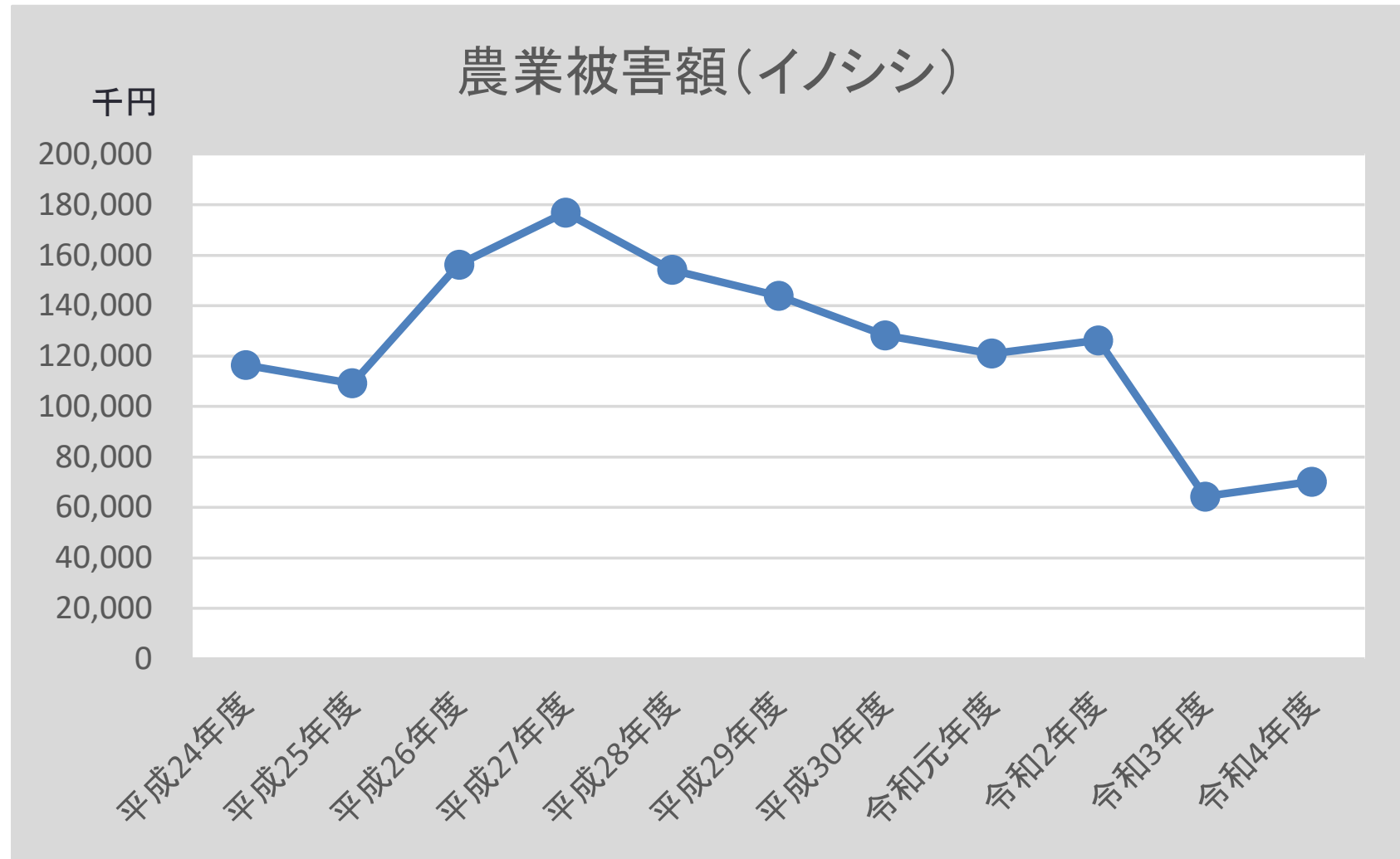
有害捕獲等



狩猟

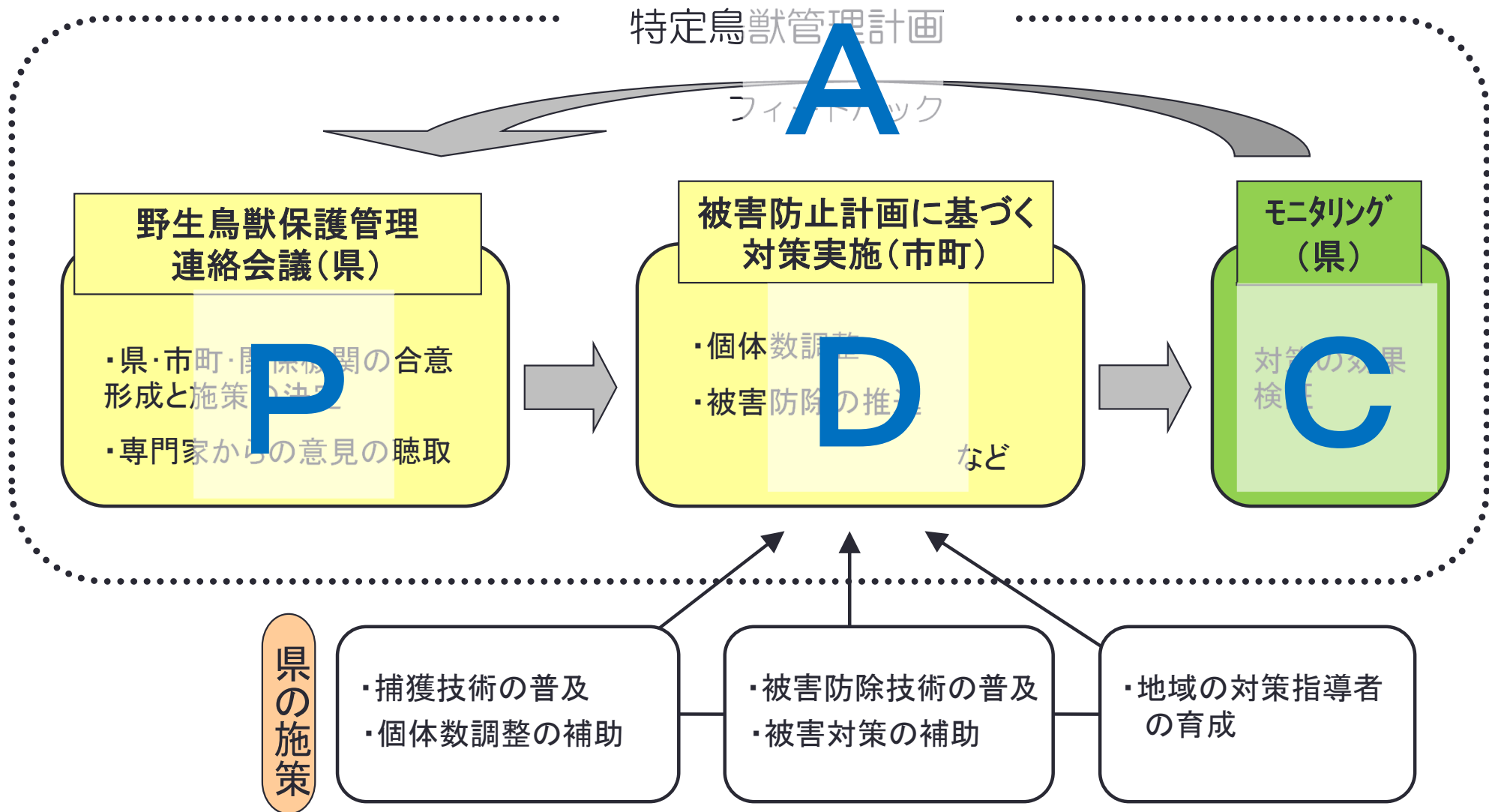


農業被害額の推移



管理計画に基づく対策の流れ

(シカ、サル、クマ、イノシシ、アライグマ・ハクビシン)



モニタリングの内容



モニタリング調査内容(令和5年度)

区 分	調査項目	実 施	分 析
捕獲個体 (狩猟・有害捕獲)	捕獲日・場所・手法・性別 捕獲効率(捕獲カレンダー)	捕獲従事者	林業センター
生息環境	自然植生への食圧(奥日光) 堅果類の豊凶(4地域) 下層植生衰退度	林業センター(一部委託) 宇都宮大学 環境省日光事務所 } 堅果類 の一部	林業センター
生息密度	区画法・糞塊法(イノシシ痕跡) ライトセンサス(2箇所) センサーカメラ(奥日光) クマカメラトラップ(1地域)	林業センター (区画法・糞塊法・カメラトラップ は委託)	林業センター
生息数	階層ベイズ法(3年に1度)	林業センター(委託)	林業センター(委託)
農業被害	被害面積・被害量 農業集落アンケート	市町村 自然環境課(一部委託)	経営技術課 林業センター
林業被害	被害面積・被害量	市町村・森林組合	森林整備課

※赤字はイノシシ関連

①捕獲カレンダーの収集（狩猟・有害）

(様式17号)

わな 個体数調整・有害鳥獣捕獲 シカ・イノシシ捕獲カレンダー (表)

記入上の注意

- ◆ 記入は、HB以上の濃さの鉛筆やシャープペンシル(0.5mm以上)で行ってください。
- ◆ 修正には、消しゴムを使用してください。

記入者氏名		平成		年度	市町名	
許可対象	☐ シカ・イノシシ両方 ☐ シカのみ ☐ イノシシのみ (該当するところに、×印を入れてください 例: ☒)					

●シカ・イノシシ用のわなについて、「設置記録」と「捕獲記録」に分けてご記入ください。

設置記録 ※捕獲実績のないわなについても記録してください。

【記入例】

捕獲記録 ※捕獲日・区画番号ごとに捕獲頭数をご記入ください。

【記入例】

※わなを設置しなかった場合も、従事者証と一緒に、必ず提出してください。

※記入欄が足りない場合は、追加の用紙をお渡しします。

(裏面へ)

(様式16号)

銃による 個体数調整・有害鳥獣捕獲 シカ・イノシシ捕獲カレンダー (表)

記入上の注意

- ◆ 記入は、HB以上の濃さの鉛筆やシャープペンシル(0.5mm以上)で行ってください。
- ◆ 修正には、消しゴムを使用してください。

記入者氏名	平成 年度	市町名
許可対象	☐ シカ・イノシシ両方 ☐ シカのみ ☐ イノシシのみ (該当するところに、×印を入れてください 例: ☒)	

●シカ・イノシシの捕獲を実施した都度、代表者が記入してください。(狩猟の場合と異なります)

- 目撃や捕獲が無かった場合も、実施日と区画番号、実施場所、同行者数をご記入ください。
- 目撃数は、同行者それぞれが目撃した頭数の合計を記入してください。（重複して構いません）
- 目撃数には、捕獲した個体も含めてください。
- 捕獲数は、同行者全員で捕獲した全ての頭数を記入してください。

【記入例】

※捕獲実施の有無にかかわらず、従事者証と一緒に、必ず提出してください。

※記入欄が足りない場合は、追加の用紙をお渡しします。

(裏面へ)

得るべき情報

捕獲日や頭数、捕獲位置(5kmメッシュ)に加え・・・

わな・銃両方

- ・許可対象(シカorイノor両方)

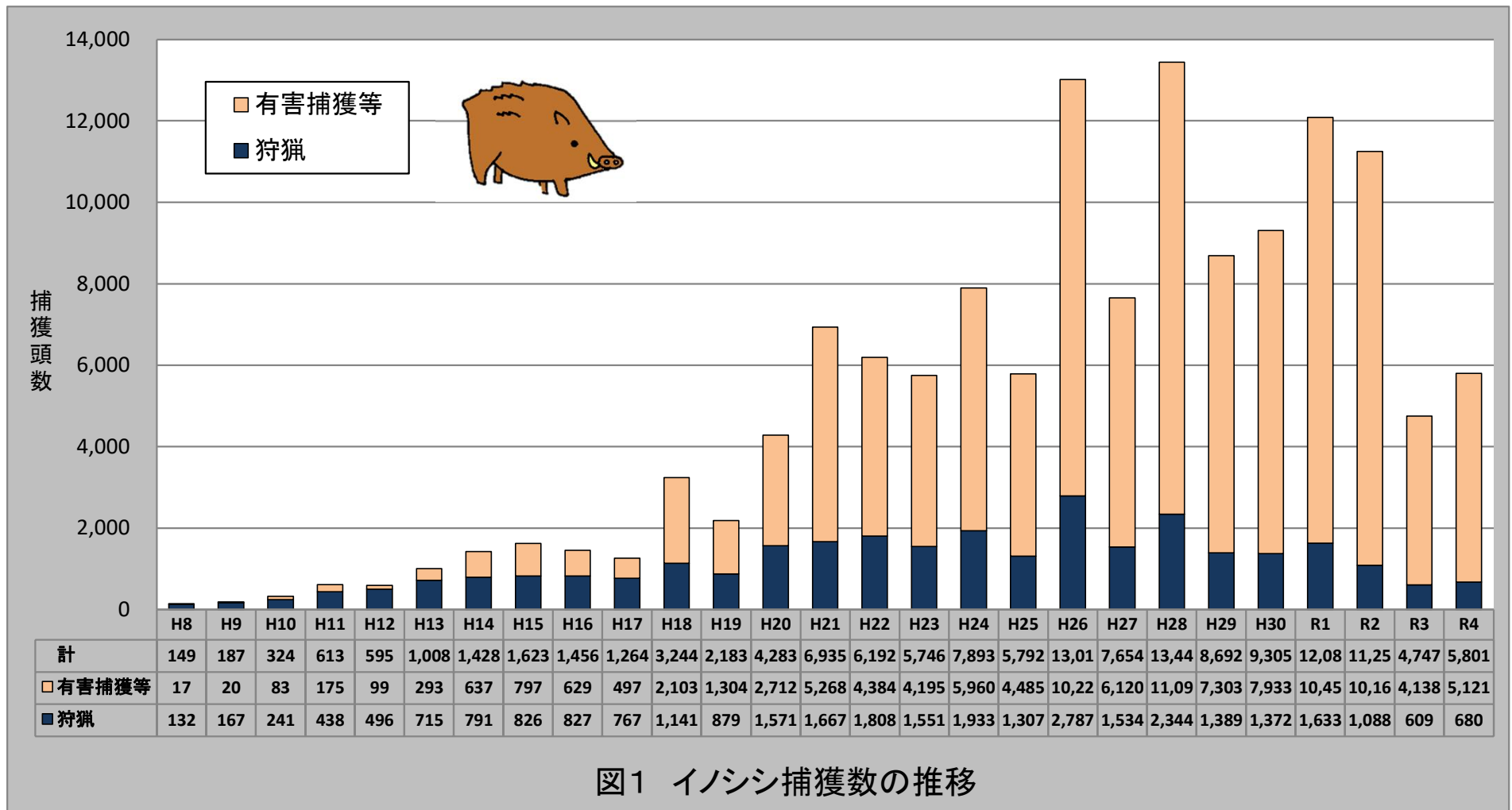
わなの場合

- ・架設位置(メッシュ)、設置数、設置期間

銃の場合

- ・入猟位置(メッシュ)
- ・同行者数
- ・目撃数

捕獲状況



R3以降の捕獲は大きく減少

有害捕獲等はわな捕獲が多い

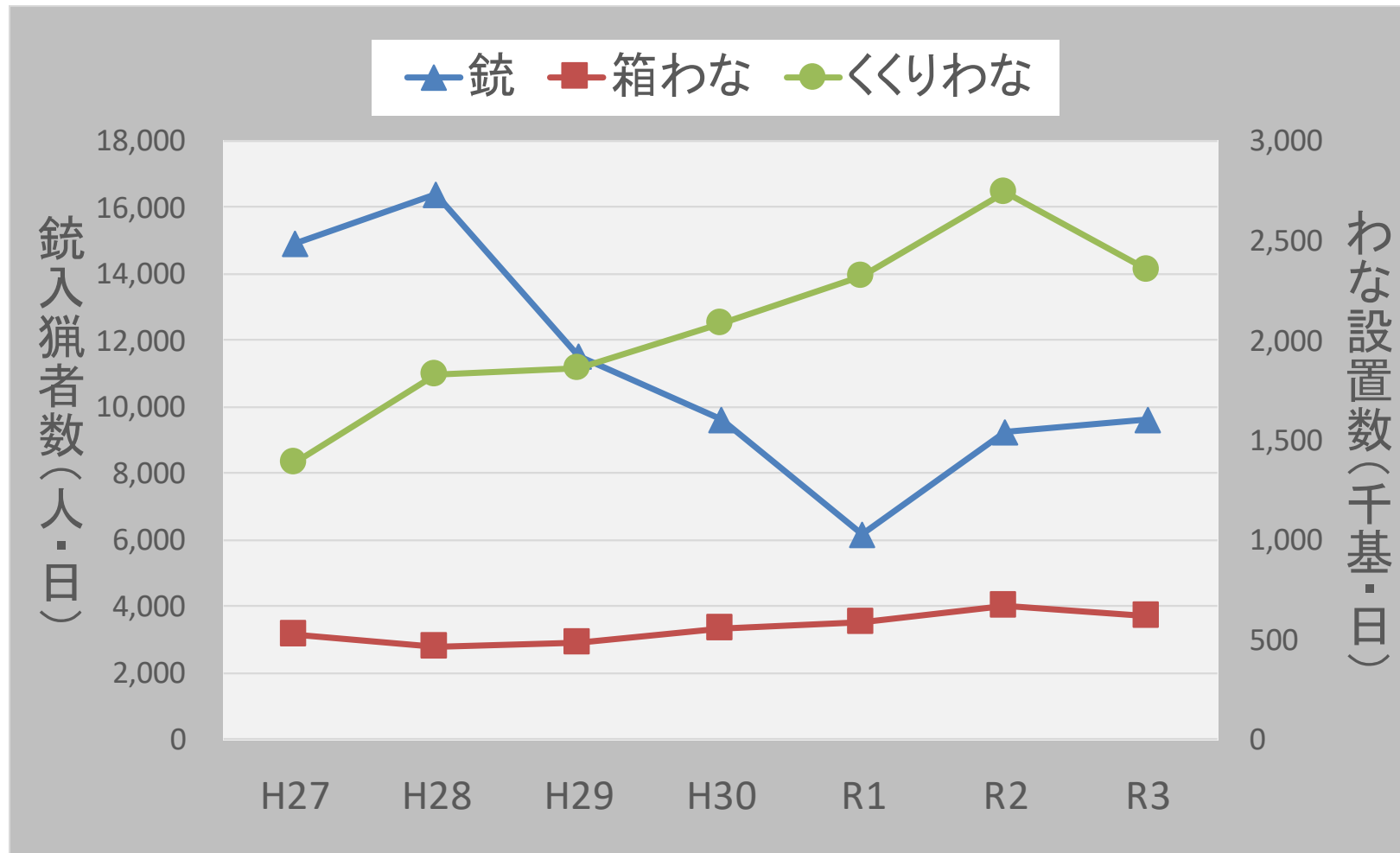
表1 地域ごとの猟具別捕獲数(有害捕獲等・令和3年度)

(単位:頭(%))

地 域	銃	箱わな	くくりわな	その他・不明	計
県東地域	22 (1.6)	98 (7.0)	1156 (82.6)	123 (8.8)	1,399 (100.0)
県南西地域	67 (2.6)	1046 (41.0)	1353 (53.1)	83 (3.3)	2,549 (100.0)
県北地域	11 (5.8)	22 (11.6)	121 (63.7)	36 (18.9)	190 (100.0)
計	100 (2.4)	1,166 (28.2)	2,630 (63.6)	242 (5.8)	4,138 (100.0)
		わな計 3,796 (91.7)			



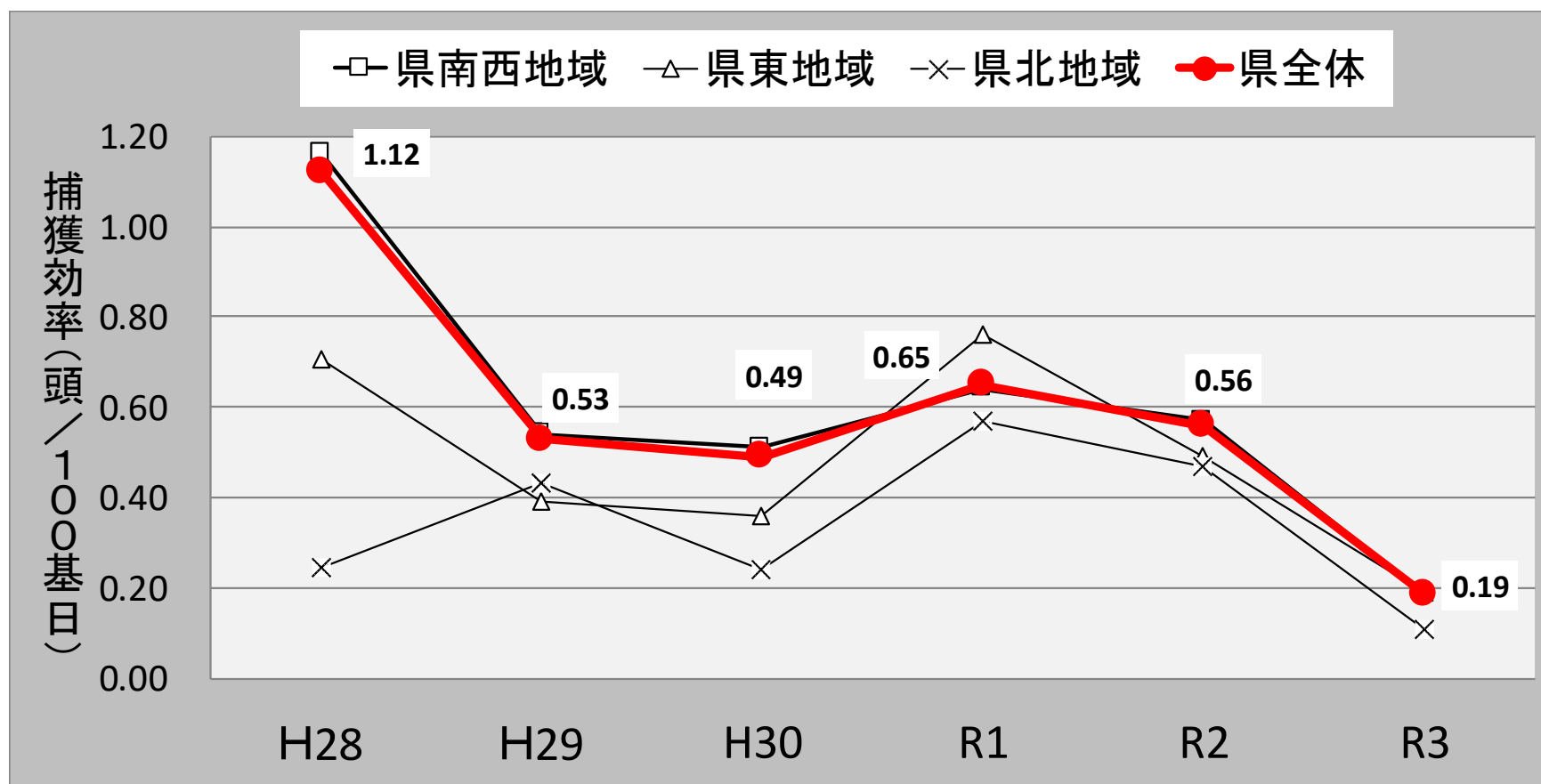
捕獲努力量は？（有害捕獲等）



R3の大きな減少なし

捕獲効率(捕れやすさ)は？

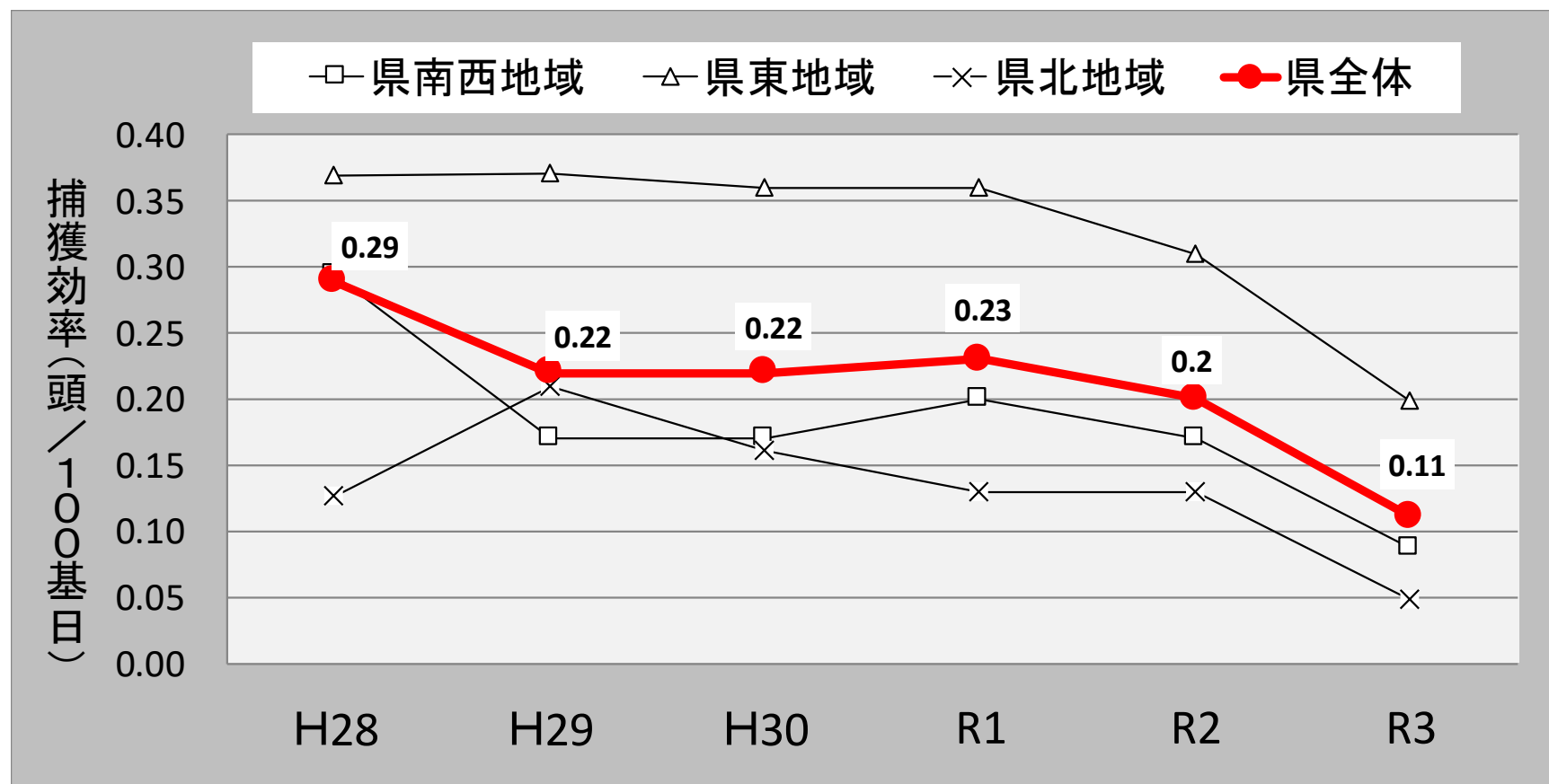
箱わな(有害捕獲等)



R3は全地域で減少

捕獲効率(捕れやすさ)は？

くくりわな(有害捕獲等)



R3は全地域で減少

ということは

努力はしているが捕れない状態

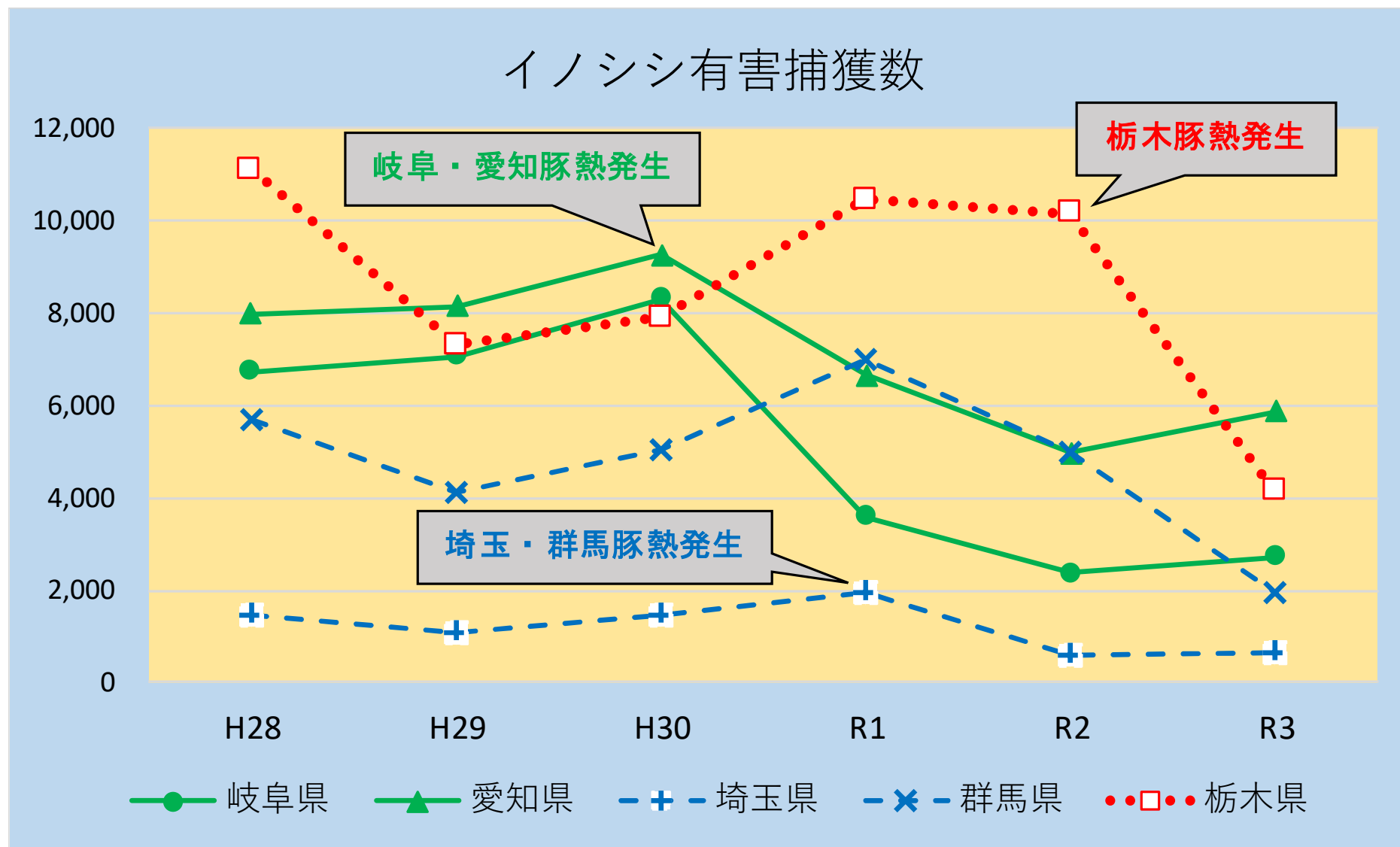


イノシシ生息密度減少の可能性

R3の捕獲減は・・・

- これまでの捕獲の効果
- 豚熱の影響

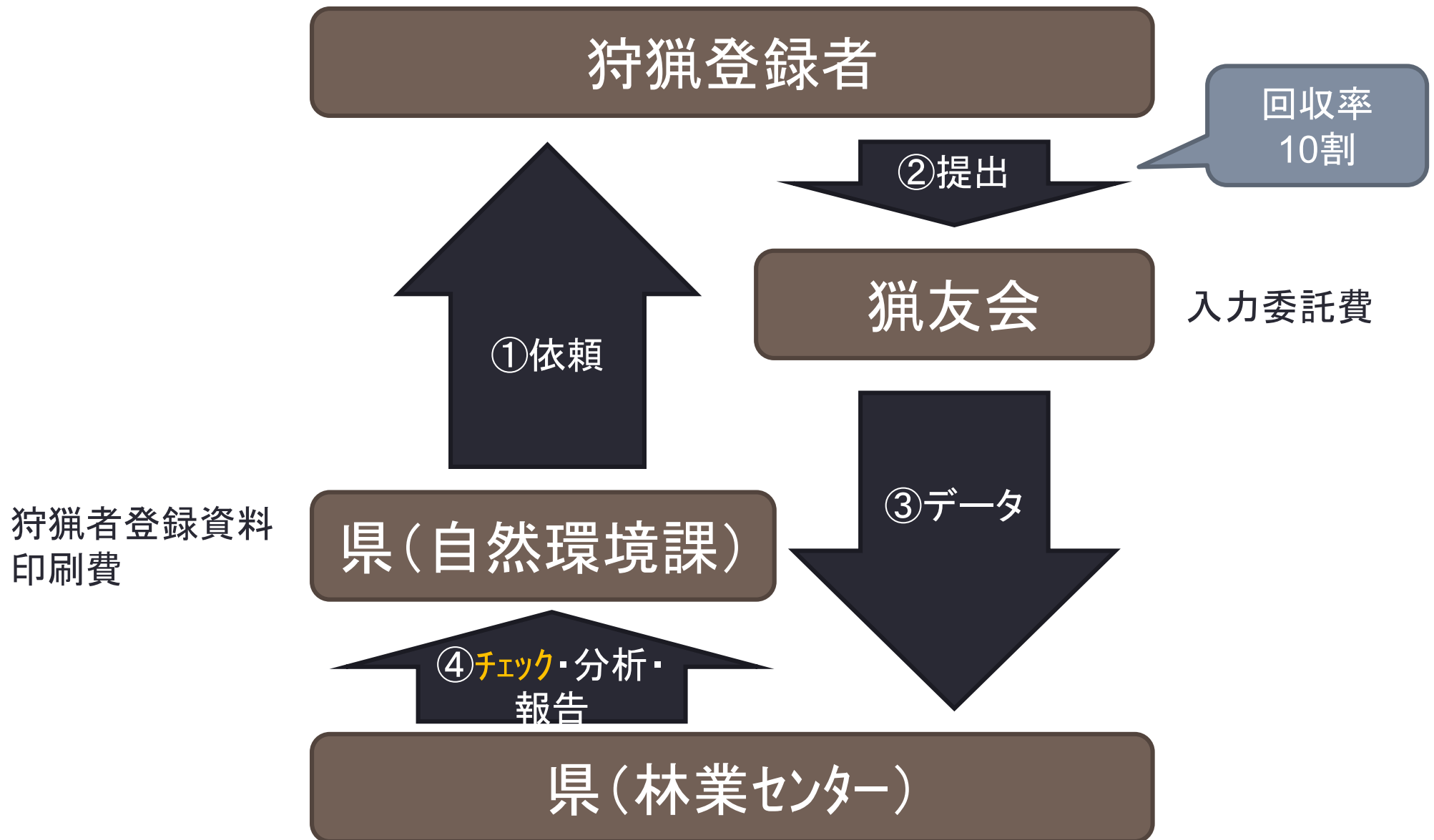
豚熱発生県の捕獲状況



データ収集・分析体制(有害捕獲)



データ収集・分析体制(狩猟)

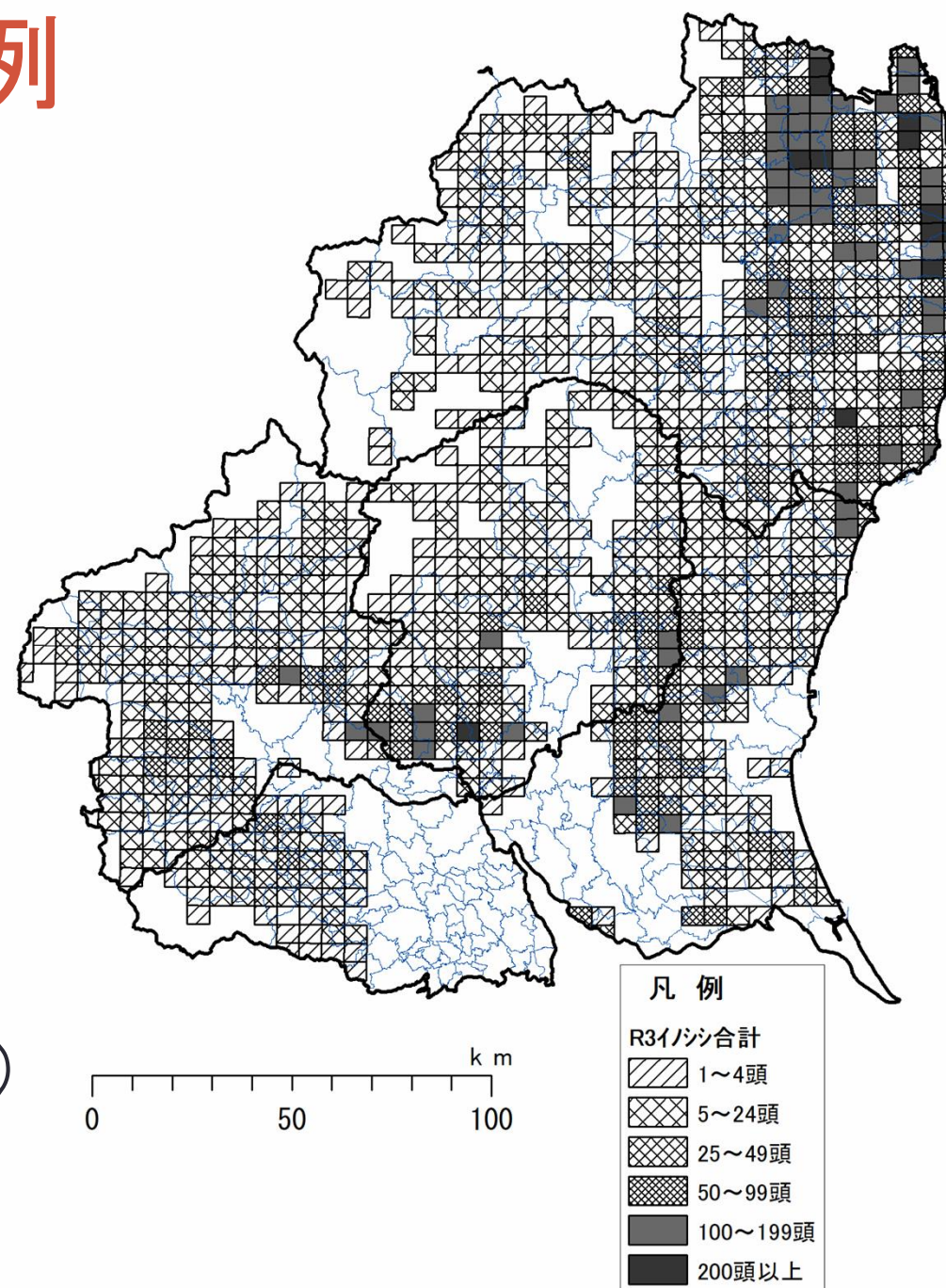


捕獲情報収集の利点

- 膨大なデータを少ない経費で収集可能
→ 捕獲従事者数千名分の調査労力
- 経年変化の分析可能
- フォーマットの統一により隣接県とのデータ統合も簡単
→ 標準地域メッシュでの管理

統合した地図の例

イノシシ捕獲分布図(R3)
(狩猟＋有害捕獲等)



考慮すべき点

- 市町村・従事者の理解が必要
→ データの還元・繰り返しの説明と催促
- 捕獲が行われている箇所のみデータしか集まらない
- 入力体制の整備が必要（直営or委託費）
- データチェック・蓄積・分析体制の整備が必要
→ 試験研究機関・大学等が望ましい

モニタリング報告書の作成

令和3(2021)年度
栃木県イノシシ管理計画
モニタリング結果報告書



【令和4(2022)年11月30日】

栃木県

目次

1	調査の目的と実施体制	1
2	捕獲数と捕獲の分布	2
3	月別捕獲数	9
4	捕獲効率(CPUE)	11
5	目撃効率(WPUE)	17
6	捕獲努力量	21
7	捕獲の方法	26
8	農作物被害の発生状況	28
9	被害対策実施状況	30
10	狩猟者の状況	34
11	野生イノシシにおける豚熱発生状況	36
12	総合評価	38
	付表	39

市町別のデータも提供（付表として）

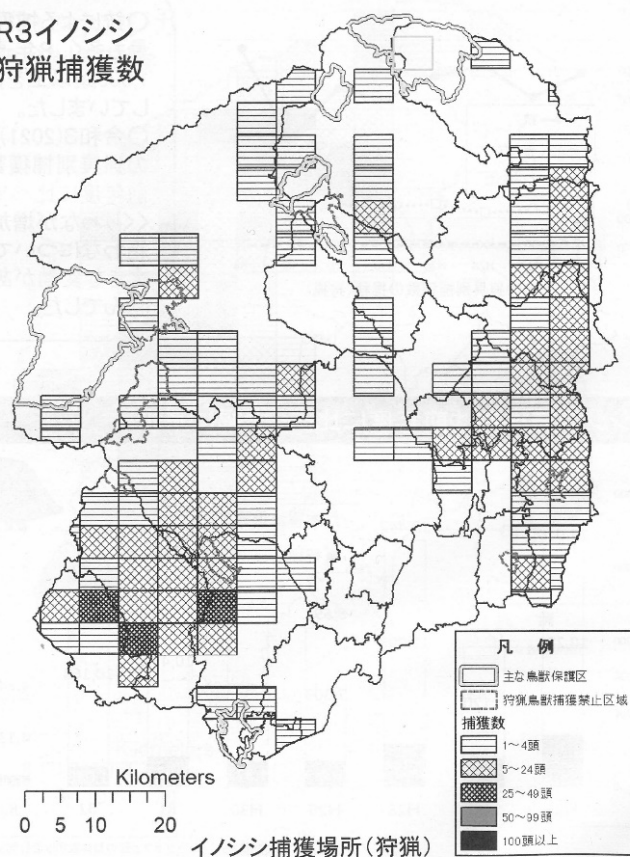
付表5 市町村別捕獲効率（有害捕獲等・くくりわな）

市町	H28			H29			H30			R1			R2			R3		
	捕獲数 (頭)	延べ わな 設置数 (基日)	CPUE (頭/100 基日)	捕獲数 (頭)	延べ わな 設置数 (基日)	CPUE (頭/100 基日)	捕獲数 (頭)	延べ わな 設置数 (基日)	CPUE (頭/100 基日)	捕獲数 (頭)	延べ わな 設置数 (基日)	CPUE (頭/100 基日)	捕獲数 (頭)	延べ わな 設置数 (基日)	CPUE (頭/100 基日)	捕獲数 (頭)	延べ わな 設置数 (基日)	CPUE (頭/100 基日)
宇都宮市	763	288,562	0.26	411	308,438	0.13	318	306,873	0.10	455	307,213	0.15	335	318,260	0.11	161	286,362	0.06
足利市	372	177,606	0.21	236	184,252	0.13	337	192,962	0.17	336	211,303	0.16	209	220,651	0.09	172	212,373	0.08
栃木市	698	164,149	0.43	378	132,673	0.28	628	237,748	0.26	504	188,883	0.27	536	203,259	0.26	316	193,195	0.16
佐野市	751	114,071	0.66	487	191,892	0.25	571	269,408	0.21	624	237,054	0.26	573	275,704	0.21	374	251,391	0.15
鹿沼市	426	166,542	0.26	420	258,740	0.16	286	181,918	0.16	518	228,974	0.23	616	280,069	0.22	202	297,849	0.07
日光市	230	190,861	0.12	174	177,718	0.10	204	191,642	0.11	338	243,689	0.14	413	324,986	0.13	105	298,113	0.04
小山市							10	1,142	0.88	15	2,877	0.52	2	1,030	0.19	9	1,820	0.49
真岡市	60	27,938	0.21	106	44,584	0.24	114	69,630	0.16	85	64,797	0.13	122	73,135	0.17	53	34,945	0.15
大田原市	98	36,312	0.27	157	56,178	0.28	127	54,521	0.23	203	97,024	0.21	274	75,421	0.36	69	64,042	0.11
矢板市	55	21,512	0.26	118	14,748	0.80	85	46,372	0.18	81	98,176	0.08	86	56,557	0.15	21	30,221	0.07
那須塩原市	71	64,424	0.11	37	8,656	0.43	77	54,463	0.14	111	91,144	0.12	132	107,531	0.12	27	121,066	0.02
さくら市										0	506	0.00				3	520	0.58
那須烏山市	249	84,892	0.29	169	89,006	0.19	158	84,123	0.19	253	72,333	0.35	280	87,868	0.32	154	93,836	0.16
益子町	104	10,053	1.03	229	17,847	1.28	335	31,545	1.06	316	32,273	0.98	276	30,587	0.90	129	14,866	0.87
茂木町	465	118,355	0.39	568	145,353	0.39	645	134,571	0.48	743	192,868	0.39	714	226,134	0.32	395	181,712	0.22
市貝町	121	23,925	0.51	286	50,527	0.57	197	48,648	0.40	199	48,243	0.41	209	57,136	0.37	128	70,660	0.18
芳賀町	5	3,562	0.14	6	4,221	0.14	7	6,905	0.10	7	3,198	0.22	3	2,848	0.11	0	284	0.00
壬生町																0	775	0.00
野木町																12	4,732	0.25
塩谷町	180	155,235	0.12	101	96,473	0.10	127	79,101	0.16	154	72,866	0.21	163	138,011	0.12	61	79,521	0.08
高根沢町							25	9,160	0.27	32	10,509	0.30	48	28,607	0.17	33	13,920	0.24
那須町	213	71,776	0.30	177	66,232	0.27	238	75,100	0.32	293	89,726	0.33	339	161,596	0.21	59	53,700	0.11
那珂川町	242	45,845	0.53	82	10,839	0.76	93	19,746	0.47	168	28,044	0.60	236	67,853	0.35	126	49,557	0.25

狩猟者への情報提供

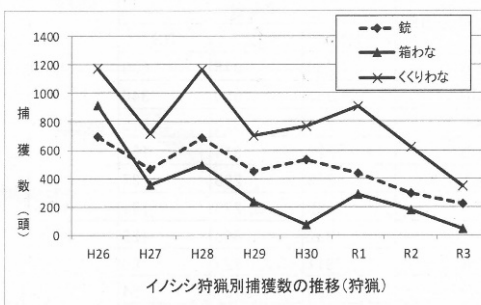
イノシシの捕獲数は県央地域を除いた県内ほぼ全域に分布

R3イノシシ
狩猟捕獲数



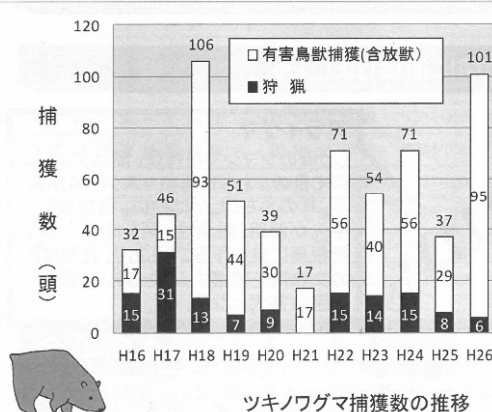
○特に南西部周辺に、25頭以上捕獲された区画が集中していました。

イノシシの捕獲は前年度に比べ、全ての猟具で減少



○くくりわなによる捕獲数が最も多く、300頭以上を捕獲していました。
○令和3(2021)年度の猟具別捕獲数は、前年度に比べて銃・箱わな・くくりわなの全てが減少しました。

ツキノワグマの捕獲数は前年度に比べ減少



○令和3(2021)年度の捕獲数は前年度に比べて捕獲が減少しました。

令和4(2022)年度

栃木県狩猟者登録資料

目 次

狩猟者の皆様へ		P. 1
鳥獣保護区等区域説明書		P. 18
捕獲報告書(切り離して報告してください)		

※ 捕獲報告の際は、「捕獲報告書」の部分を切り離して、登録証の交付を受けた行政庁に登録証とともに提出してください。

栃木県環境森林部自然環境課

市町村や狩猟者の理解が...

- 始めることが重要
- 初期の低提出率はあきらめる
→ 提出率を明示してデータを使用する
- データの必要性を示しながら継続

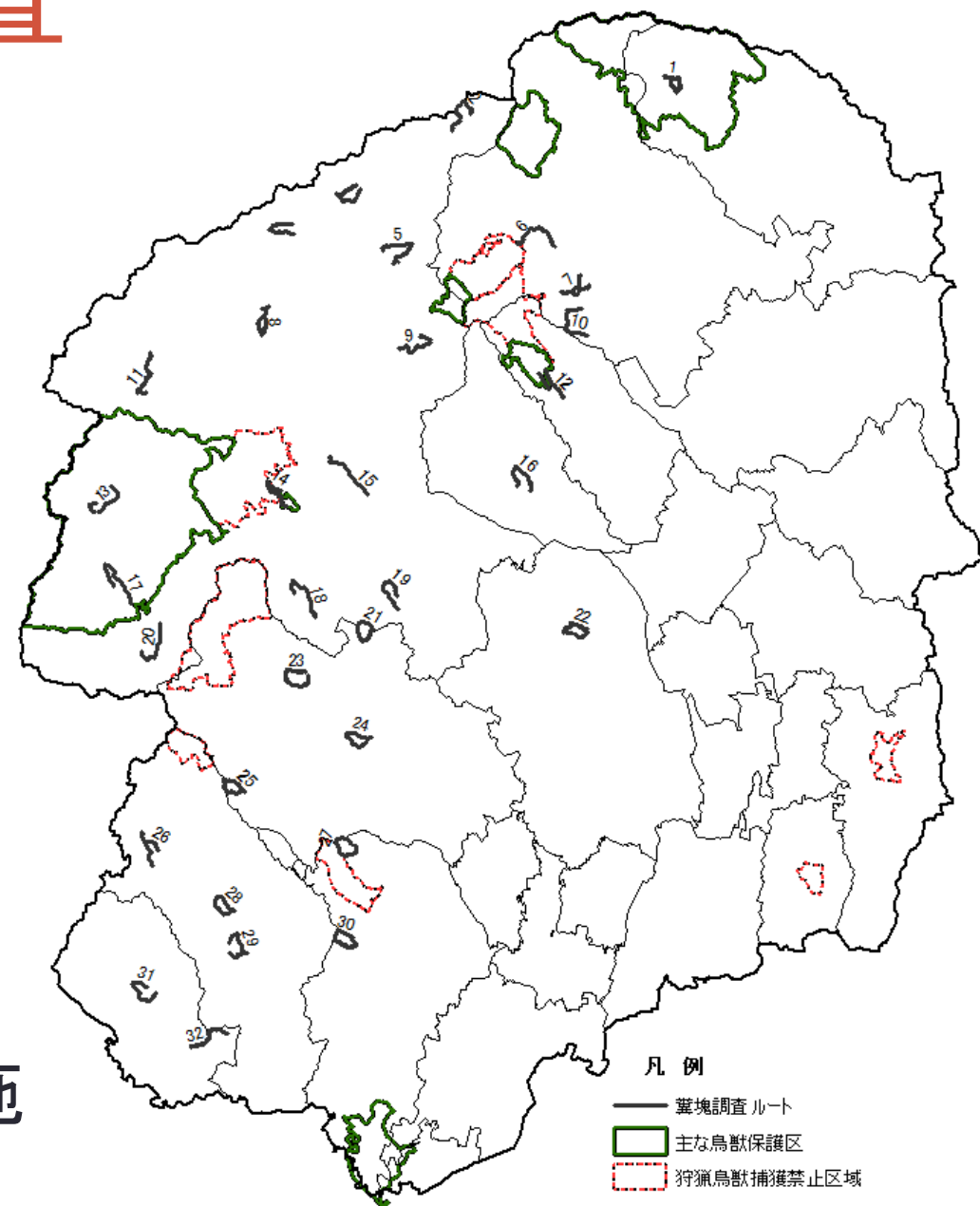
始めたからには

- ・業務としてしっかり位置づける
 - 年度ごとにぶれない
 - データ蓄積・管理場所の明確化

②イノシシ痕跡調査

- ・掘り起こし(新・旧)
- ・こすり痕
- ・糞

シカ糞塊調査と同時に実施
(32ルート)



掘り起こしと密度との相関

簡易密度指標の開発

- ・イノシシの密度指標として掘返し痕跡が有効であるが、不定形である痕跡を記録するのは難しく、調査労力が大きい
- ・掘返し痕跡を全て数え上げるのではなく、調査区画内の痕跡を「あり」・「なし」で記録する**簡易密度指標を開発**
- ・調査者への負担が少なく、**既存のシカ糞塊密度調査と同時に実施可能**
- ・広域におけるイノシシの生息状況の把握や、年次調査によるモニタリングに有効な方法である

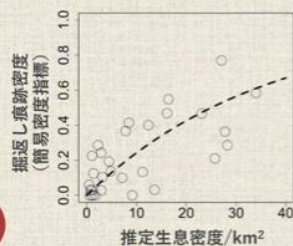
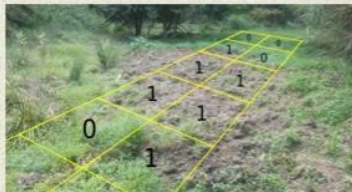
● イノシシの掘返し痕跡とは

- ・イノシシの掘返し痕跡は、土壌動物や植物などのエサを探索する行動によって生じる
- ・成獣だけでなく、幼獣も掘返しを行う
- ・広範囲に面的に広がっていたり、長く連続したり、局所的であったりと、掘返しの形状は様々



● 簡易密度指標

5km程度の調査ルートに約50区画を設定し、調査区画内の痕跡を「あり」・「なし」で記録する簡易密度指標を開発



シカ糞塊密度調査と同時に実施可能

イノシシの生息状況把握のための 調査・分析マニュアル [掘返し痕跡編]



独立行政法人 環境再生保全機構 環境研究総合推進費（4G-2001）
「イノシシの個体数密度およびCSF感染状況の簡易モニタリング手法の開発」
サブテーマ1「イノシシの個体数変動の簡易モニタリング手法の開発」

兵庫県立大学HPより

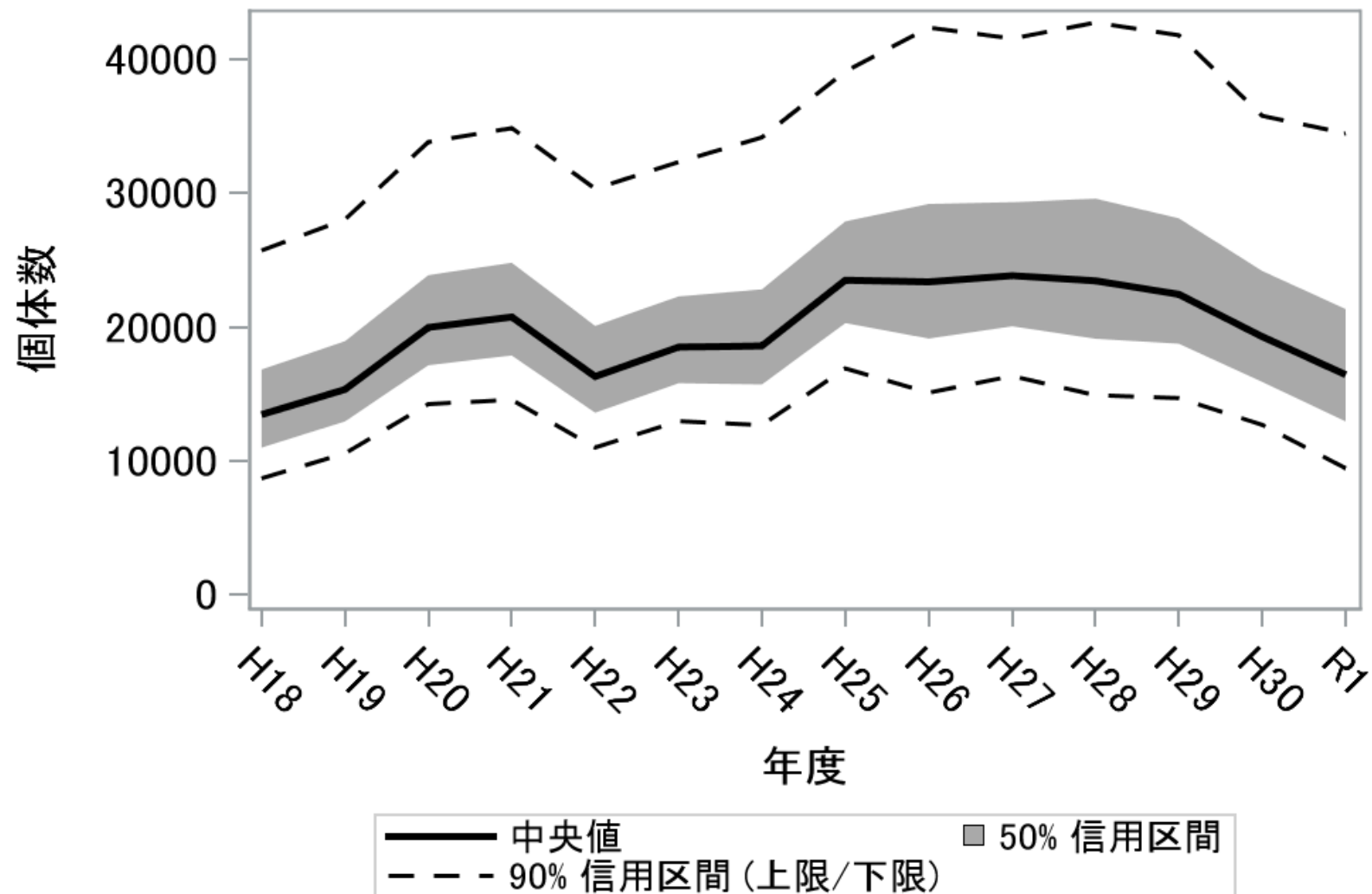
③階層ベイズ法

3年ごとに実施

使用するデータ

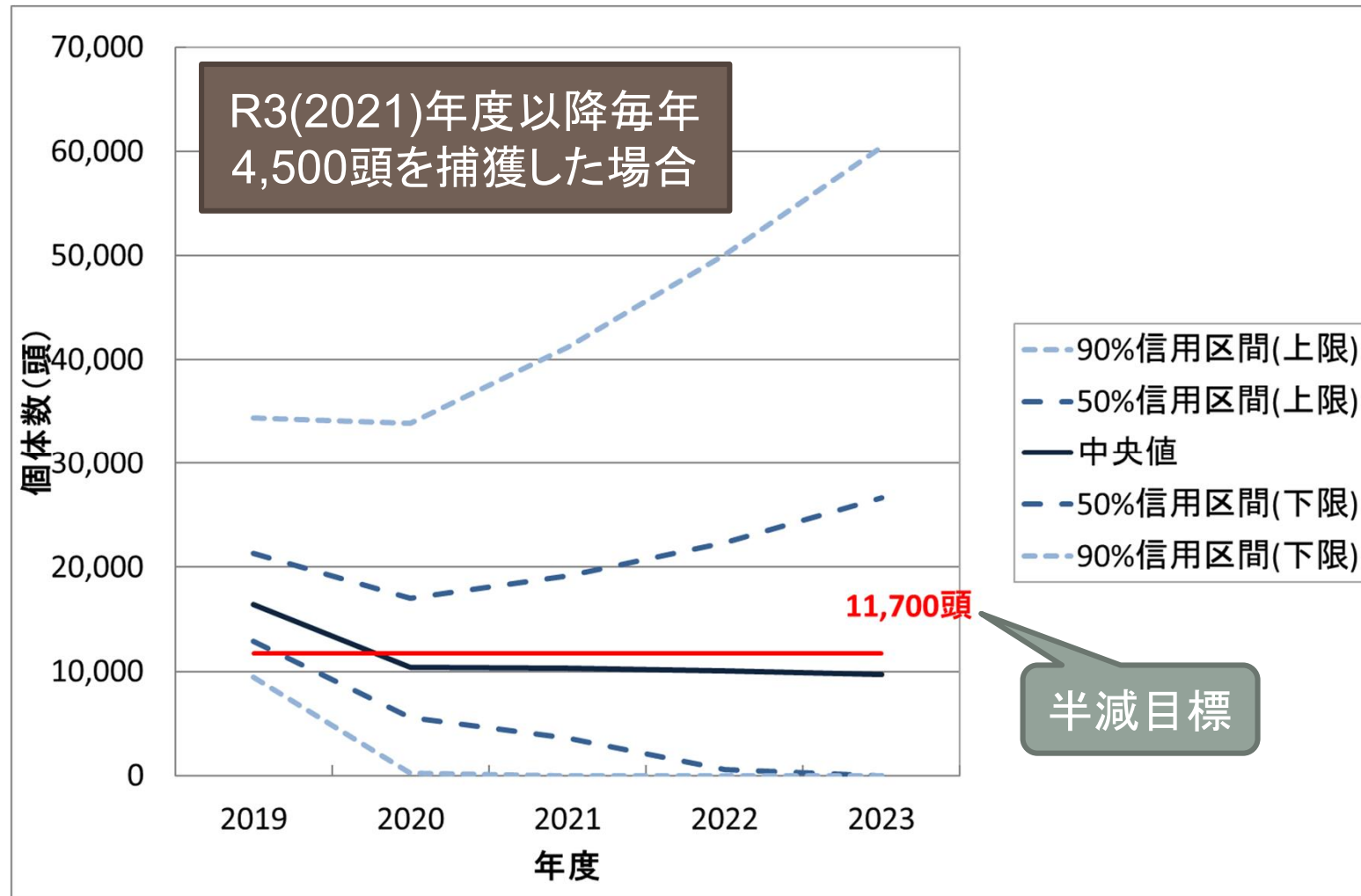
- ・総捕獲数
- ・目撃効率(銃)
- ・捕獲効率(銃・箱わな・くくりわな)
- ・堅果類の豊凶指数
- ・掘り起こしの数(シカ糞塊調査ルート上)

階層ベイズ法推定結果



イノシシ推定個体数の動向(R2推定結果)

将来予測(将来の増加率をランダムに設定)



捕獲数一定でR5(2023)年度に半減目標を達成

④農業集落アンケート

市町コード	旧市町村コード	集落コード	調査区	集落名	役職	氏名	記入日	平成	年	月	日	提出用 1
				郵便番号		住所						電話番号

記入上の注意 ◆記入は、HB以上の濃さの鉛筆やシャープペンシル(0.5mm以上)で行ってください。 ◆修正には、消しゴムを使用してください。
◆該当するチェックボックス□に、×印を入れてください。(記入例: ☒) 塗りつぶしは不可(悪い例: ☒)

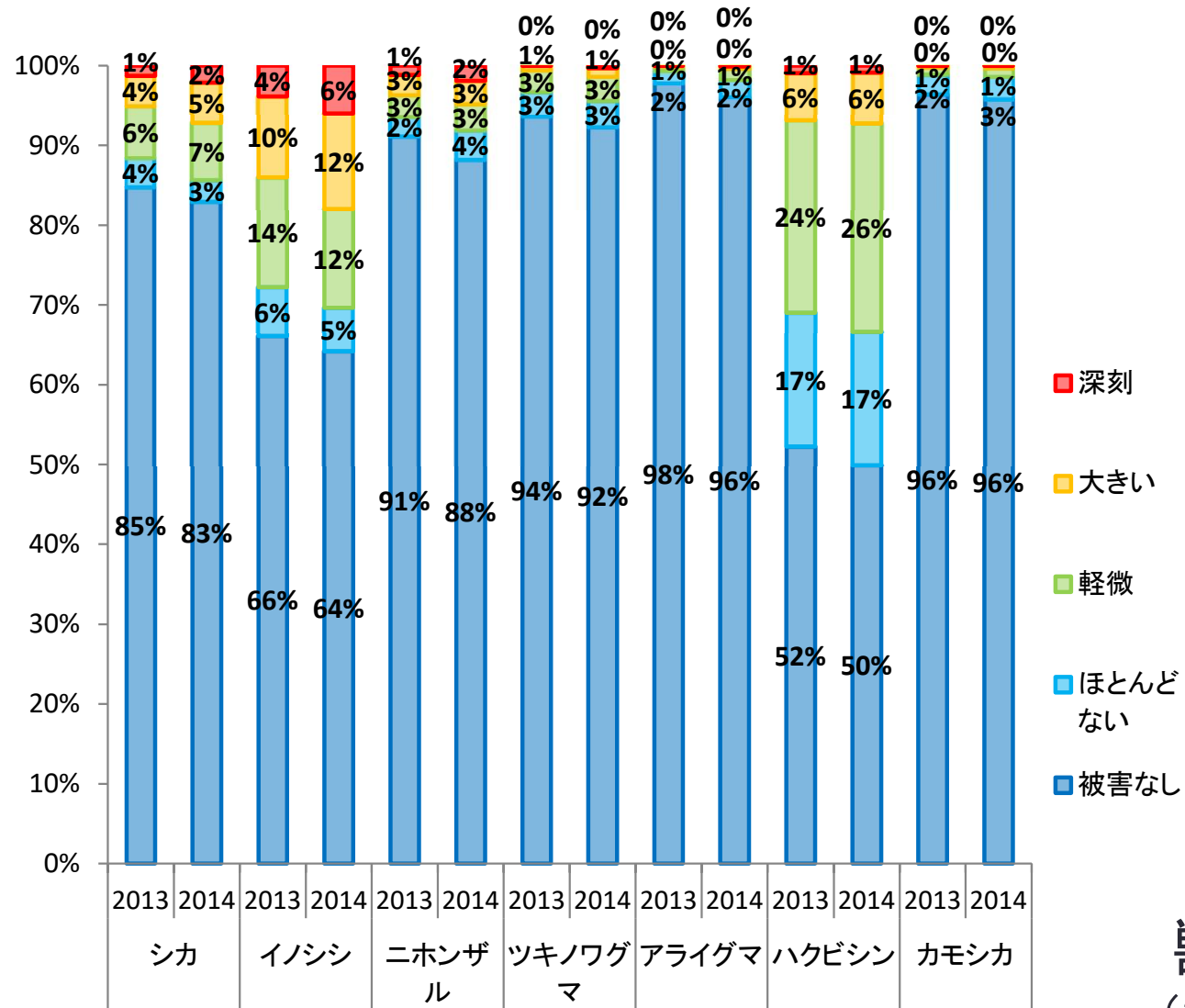
集落の中での獣害問題は、 ☐ 最も重要な課題 ☐ 重要な課題の一つ ☐ 他の課題の方が重要 ☐ 集落全体の課題ではない ☐ 他の重要な課題は()		集落で防護柵を設置している場合のみお答えください。 集落の防護柵の保守管理は、誰が行っていますか？(複数回答可) ☐ 集落全体 ☐ 役員 ☐ 各自が自主的に ☐ その他() 口当を出していますか？ ☐ なし ☐ あり () 円/人口程度 点検の頻度と、実施する時期は？ 年に () 回程度 時期() 月～() 月 柵で防げない場所は ☐ ない ☐ ある		捕獲体制について ☐ 集落内の狩猟免許所持者と協力 (☐ シカ・ ☐ イノシシ・ ☐ サル・ ☐ ハクビシン・ ☐ その他) 協力内容(☐ 見回り・ ☐ 餌交換・ ☐ 死体の処理・ ☐ その他()) ☐ 集落内の狩猟免許所持者が実施 (☐ シカ・ ☐ イノシシ・ ☐ サル・ ☐ ハクビシン・ ☐ その他) ☐ 市町に連絡し、市町が猟友会に依頼 (☐ シカ・ ☐ イノシシ・ ☐ サル・ ☐ ハクビシン・ ☐ その他)		
防護柵の	集落柵	個人柵				
設置有無	☐ なし ☐ あり	☐ なし ☐ あり				
種類	☐ ネット ☐ 電気柵 ☐ 金網柵 ☐ トタン柵	☐ ネット ☐ 電気柵 ☐ 金網柵 ☐ トタン柵				
設置率	農地の () %を囲っている	農地の () %を囲っている				
効果	☐ なし ☐ あり	☐ なし ☐ あり				
今後の増設	☐ 不要 ☐ 必要	☐ 勧めない ☐ 勧める				
被害対策の研修会について		集落として被害対策の研修会に参加したことが ☐ ない ☐ ある() 回程度 今後、研修会に ☐ 参加しない ☐ 参加したい →受けた研修内容は ()				
集落周辺の樹木の実り(営利栽培は除く)		クリ ☐ 豊作 ☐ 並作 ☐ 凶作 ☐ 不明 ☐ 木はない カキ ☐ 豊作 ☐ 並作 ☐ 凶作 ☐ 不明 ☐ 木はない ドングリ ☐ 豊作 ☐ 並作 ☐ 凶作 ☐ 不明 ☐ 木はない				

対象動物	農業被害	出没	実施した対策とその効果 (防護柵についてはこれまでに設置したものを含みます)	その他特記事項
シカ ☐ いる ↳ (☐ 通年 ☐ 春～秋だけ ☐ 不明) ☐ いない (→右は記入不要)	農業被害は ☐ ない ☐ 軽微 ☐ 大きい ☐ 深刻	農地・集落の周辺で ☐ あまり見ない ☐ たまに見る ☐ よく見る	捕獲 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) やぶ刈払 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) その他 () →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明)	防護柵 ☐ 無 ☐ 有 (☐ ネット ☐ 電気柵 ☐ 金網柵 ☐ トタン柵) →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明)
イノシシ ☐ いる ☐ いない (→右は記入不要)	農業被害は ☐ ない ☐ 軽微 ☐ 大きい ☐ 深刻	農地・集落の周辺で ☐ あまり見ない ☐ たまに見る ☐ よく見る	捕獲 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) やぶ刈払 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) その他 () →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明)	防護柵 ☐ 無 ☐ 有 (☐ ネット ☐ 電気柵 ☐ 金網柵 ☐ トタン柵) →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明)
ニホンザル ☐ いる ↳ ☐ 子供を連れた群れがいる ☐ 1～数頭のハナレザルだけがいる ☐ いない (→右は記入不要)	農業被害は ☐ ない ☐ 軽微 ☐ 大きい ☐ 深刻	農地・集落の周辺で ☐ あまり見ない ☐ たまに見る ☐ よく見る	捕獲 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) やぶ刈払 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) 不要果樹の伐採 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) その他 () →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明)	防護柵 ☐ 無 ☐ 有 (☐ ネット ☐ 電気柵 ☐ 金網柵 ☐ トタン柵) →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明)
ツキノワグマ ☐ いる ☐ いない (→右は記入不要)	農業被害は ☐ ない ☐ 軽微 ☐ 大きい ☐ 深刻	農地・集落の周辺で ☐ あまり見ない ☐ たまに見る ☐ よく見る	捕獲 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) やぶ刈払 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) 不要果樹の伐採 ☐ 無 ☐ 有 →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明) その他 () →効果(☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明)	生活被害 ☐ 器物破損 ☐ 住居侵入 近づいた時のサルの反応 ☐ 逃げる ☐ 逃げない ☐ 人を威嚇する 人身事故

被害の程度の評価
→モニタリング指標

裏面(提出用2)の記入も、よろしくお願いします。

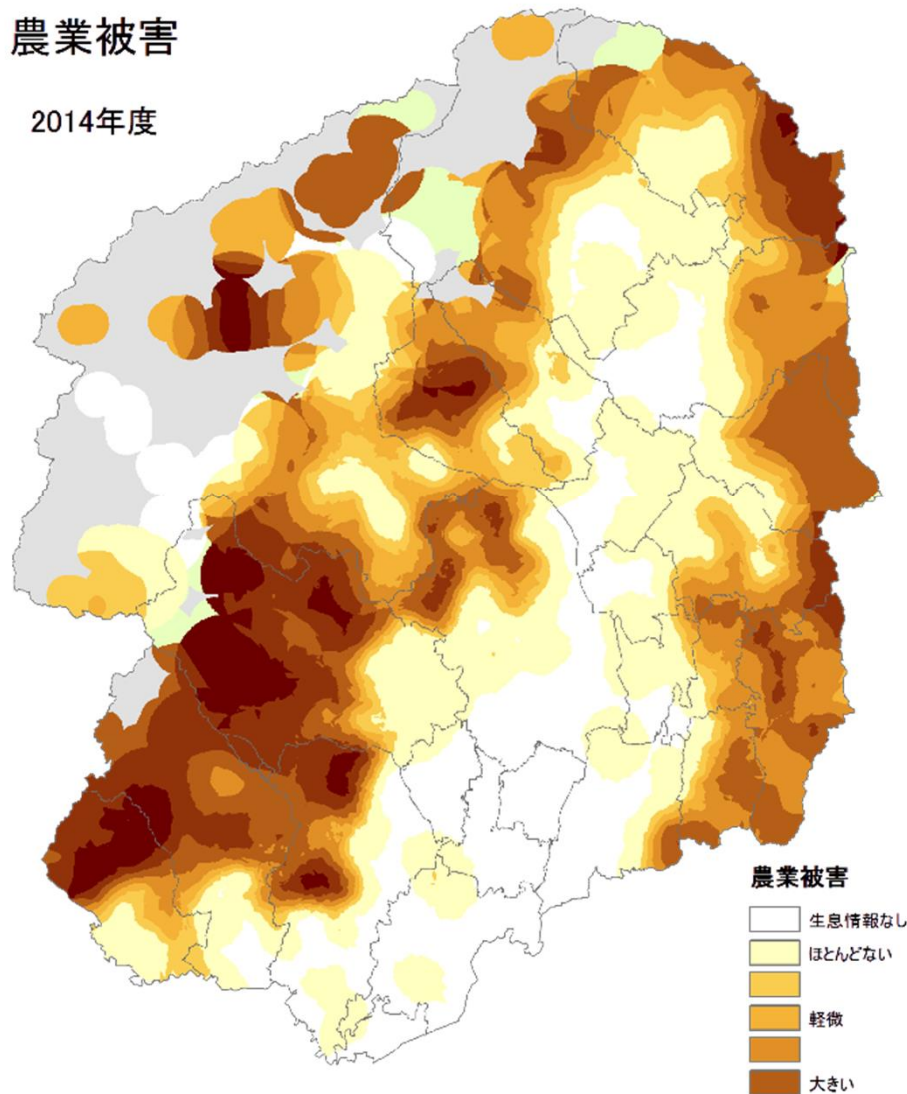
農業集落アンケート



獣種別の被害程度
(2013年と2014年の比較)

農業集落アンケート

イノシシ
農業被害
2014年度



R5に再開

対象約3,800件

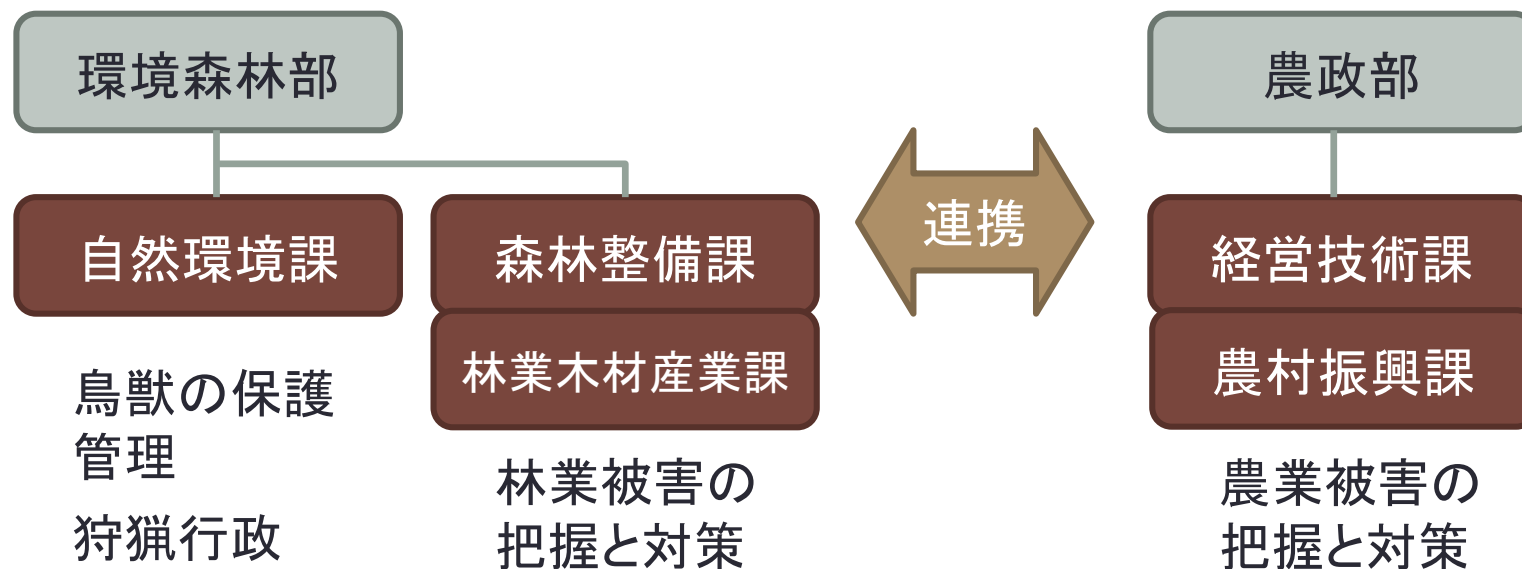
- ・アンケートと封筒印刷費
- ・封入、発送経費
- ・入力、分析経費

体制と予算



栃木県の野生動物管理行政の体制

本庁



出先

(環境森林部)

環境森林事務所及び
森林管理事務所

県内5箇所 行政の出先機関

林業センター

鳥獣関係の試験研究とモニタリング

国庫予算の流れ

窓口

執行

指定管理鳥獣捕
獲等事業交付金
(環境省)



自然環境課
野生鳥獣対策班



自然環境課
野生鳥獣対策班

鳥獣被害防止総
合対策交付金
(農水省)



自然環境課
野生鳥獣対策班



農政部
経営技術課・農村振興課

指定管理鳥獣捕獲等事業交付金(環境省)

交付金メニュー	実施している主な内容	実施機関	予算執行機関
実施計画策定・生息状況調査等	モニタリング調査等	都道府県	自然環境課
指定管理鳥獣の捕獲	シカ・イノシシの捕獲	都道府県	自然環境課
効果的な捕獲の推進	捕獲手法の技術開発 市町村連携捕獲 広域連携捕獲	都道府県	自然環境課
認定事業者の育成	技術向上のための研修会等	都道府県	自然環境課

※ジビエ関連事業は実施していないため未記載

鳥獣被害防止総合対策交付金(農水省)

交付金メニュー	実施している主な内容	実施機関	予算執行機関
総合支援事業(ソフト)	実施隊活動支援、わなの配備、ICT導入等	市町協議会	農政部経営技術課
総合支援事業(ハード)	防護柵設置	市町協議会	農政部経営技術課
緊急捕獲活動支援事業	有害捕獲経費支援	市町 市町協議会	自然環境課
都道府県活動支援事業	広域捕獲活動(有害捕獲)※、新技術実証、人材育成	都道府県	自然環境課 農政部経営技術課 農政部農村振興課

※生息状況調査に活用

鳥獣被害防止総合対策交付金（都道府県事業）について 令和5年度版 (R5.4)

鳥獣被害防止総合対策交付金のうち、都道府県が主導して行う広域捕獲活動を実施する取組等を支援します。

都道府県による市町村間の連携促進

1. 実施体制の整備

事業の実施体制を整備するための会議開催費用を支援

2. 広域捕獲活動（有害捕獲）

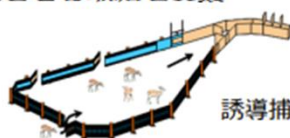
- ・農業者団体又は市町村職員等を捕獲の担い手として育成するための技能研修
- ・生息状況調査、被害状況調査の実施
- ・箱わな等捕獲機材の整備による捕獲



被害防止活動の効率化

3. 新技術実証・普及活動

新たな技術等を、市町村と協力して実証・普及させる取組を支援



誘導捕獲柵わな

1. 補助率 定額

【限度額】2,300万円/都道府県

※ジビエ等の利用拡大に取り組む場合、
300万円を上限に加算

4. 実施隊員確保のための人材育成活動

狩猟免許取得や銃所持のための技能講習会の開催を支援

5. ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組

鳥獣の利活用を推進する人材の育成、ジビエ等の需要拡大に資する取組を支援

- ・捕獲～処理加工の技能向上
- ・流通・消費者等との連携
- ・商品開発、意向調査、販路開拓
- ・豚熱発生地域での安全なジビエ利用の促進



処理加工技術の向上



セミナー等の開催



商品開発



品質確保のための検証

2. 支援要件

●捕獲活動は、被害防止計画に基づく捕獲であること

広域的な捕獲のための体制構築

都道府県による円滑な広域捕獲を推進するための取組を支援

広域捕獲に係るスキーム

市町村による要請

都道府県による調査

都道府県が自ら捕獲を行うに当たって必要となる被害状況・生息状況等の調査を実施

対策の計画の作成

調査結果を基に、都道府県は関係機関と調整しながら対策を検討

林地奥等の広域捕獲（個体数調整）

都道府県は計画に基づき必要な措置を実施



高度捕獲人材育成活動

1. 補助率 定額

【限度額】2,400万円/都道府県

※広域捕獲に係る捕獲者の人材育成に取り組む場合、
300万円を上限に加算
捕獲活動経費 【上限単価】18,000円/頭

2. 支援要件

●捕獲活動は、都道府県の個体数調整の許可捕獲であること。

※都道府県が行う広域捕獲活動は特別交付税措置の対象になります

モニタリングに関する予算(R5)

事業	主な内容	費目	財源※
シカ密度調査	区画法・糞塊法(糞塊法ではイノシシ痕跡も記録)	委託	環・県一
シカ影響調査	植生モニタリング カメラ調査	委託	環
シカ・イノシシ捕獲データ入力	有害捕獲カレンダー	委託 印刷	環
狩猟捕獲データ入力	シカイノ狩猟捕獲カレンダー その他鳥獣捕獲票	委託	県特
シカ・イノシシ個体数推定	階層ベイズ法による推定(3年に1度)	委託	環・県一
クマ生息状況調査	カメラトラップ 堅果類調査	委託 直営	農
サル生息状況調査	行動圏把握	委託	農
農業集落アンケート調査	集落代表者へのアンケート	委託	農

※環:環境省、農:農水省、県一:県一般財源、県特:県特定財源

捕獲に関する予算(R5)

事業	主な内容	費目	財源※
市町村捕獲活動支援事業	市町が実施する捕獲事業(日当・成果報酬)への支援	補助	県一
捕獲強化奨励事業	捕獲従事者への奨励金 シカ@2,000円、イノ@3,000円	補助	県一
緊急捕獲活動推進事業	有害捕獲活動経費の支援 シカイノ@8,000円等	補助	農
指定管理鳥獣捕獲等事業	捕獲圧不足地域での捕獲、技術開発	委託 備品	環・県一

※環:環境省、農:農水省、県一:県一般財源、県特:県特定財源

その他の予算(R5)

事業	主な内容	費目	財源※
「森の番人」確保育成事業	捕獲担い手確保のためのPRや初心者研修	委託 消耗品	環・県一・ 県特
認定鳥獣捕獲等事業者支援事業	認定事業者制度の周知、従事者研修	印刷 委託	環
獣害対策アドバイザー派遣事業	被害発生地域への専門家派遣、被害状況調査、技術普及	委託	農
獣害対策地域リーダー育成事業	対策指導者の育成	委託	農
ICT等獣害防除新技術実証事業	電気柵監視システム、サル複合柵	委託 消耗品	農
次世代林業技術検証事業	林業被害地での捕獲通報装置の実証	委託 備品	県特
有害鳥獣河川敷緩衝帯整備事業	河川敷の刈り払いや伐木整地	補助 工事	県一
シカ等による森林被害緊急対策事業	下層植生衰退度の把握	委託	林

※環：環境省、農：農水省、林：林野庁、県一：県一般財源、県特：県特定財源

県境をまたぐ広域連携



広域連携



福島茨城栃木連携捕獲協議会 (R1～)

福島県・茨城県・栃木県
八溝地域へのシカ分布拡大防止

渡良瀬遊水地連携捕獲協議会 (R4～)

茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県
渡良瀬遊水地のイノシシ・シカ対策

環境省

指定管理鳥獣捕獲等事業交付金 (定額)

- ・ 調査事業：1千万円
- ・ 捕獲事業：1千万円×県数
(各1協議会あたり)

指定管理鳥獣捕獲等事業交付金(環境省)

交付金メニュー	実施している主な内容	実施機関	予算執行機関
実施計画策定・生息状況調査等	モニタリング調査等	都道府県 協議会	自然環境課 連携捕獲協議会
指定管理鳥獣の捕獲	シカ・イノシシの捕獲	都道府県	自然環境課
効果的な捕獲の推進	捕獲手法の技術開発 市町村連携捕獲 広域連携捕獲	都道府県 協議会	自然環境課 連携捕獲協議会
認定事業者の育成	技術向上のための研修会等	都道府県	自然環境課

※ジビエ関連事業は実施していないため未記載

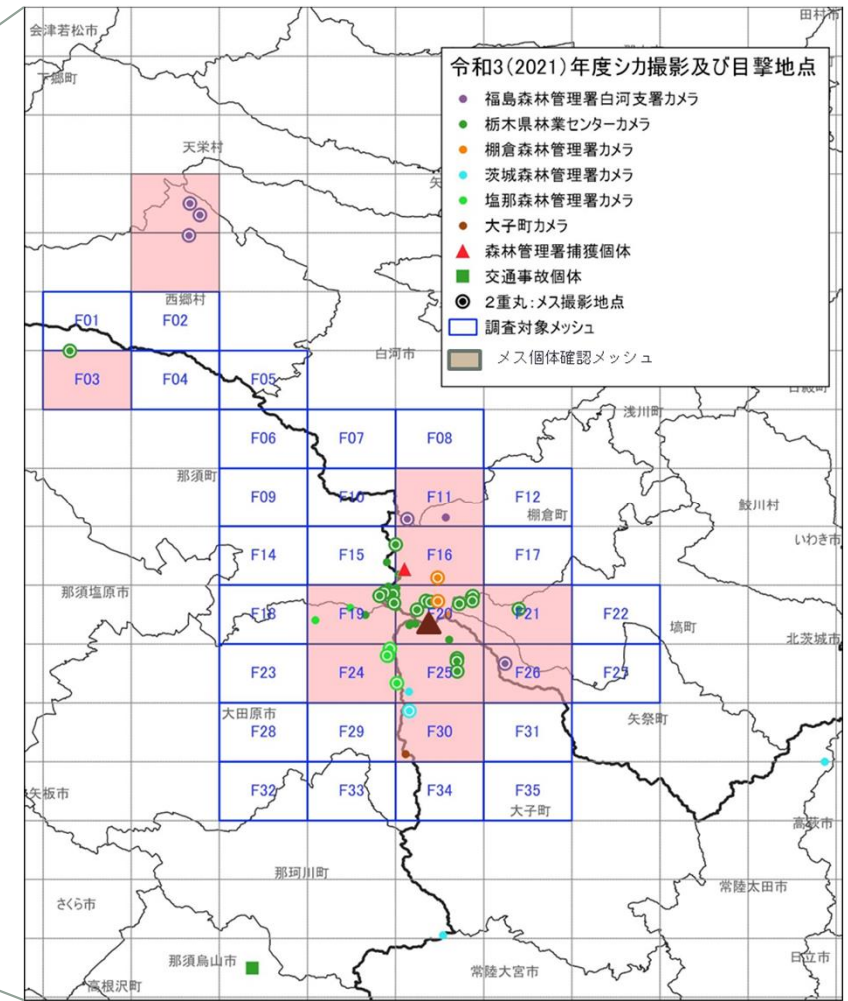
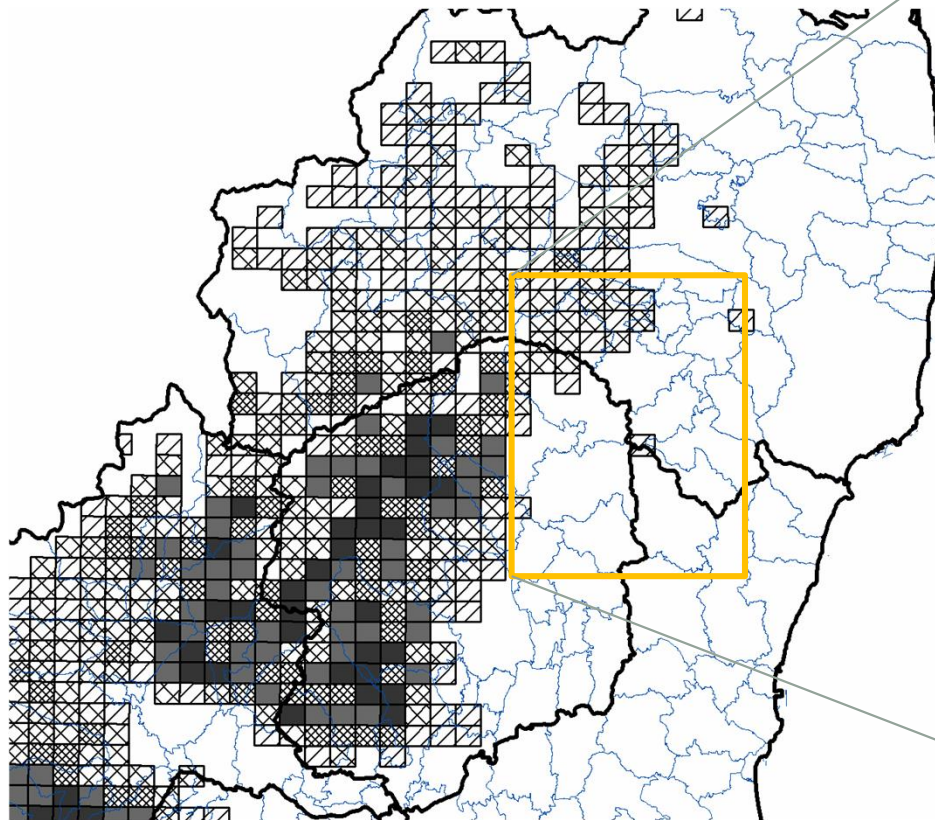
連携捕獲協議会をつくと・・・

- 規約の作成、総会の開催
- 交付金業務（広域捕獲計画作成、交付申請等）
- 事業の設計、発注、施工
- 許認可等関係機関との調整
- 通帳の管理

栃木県が事務局として実施

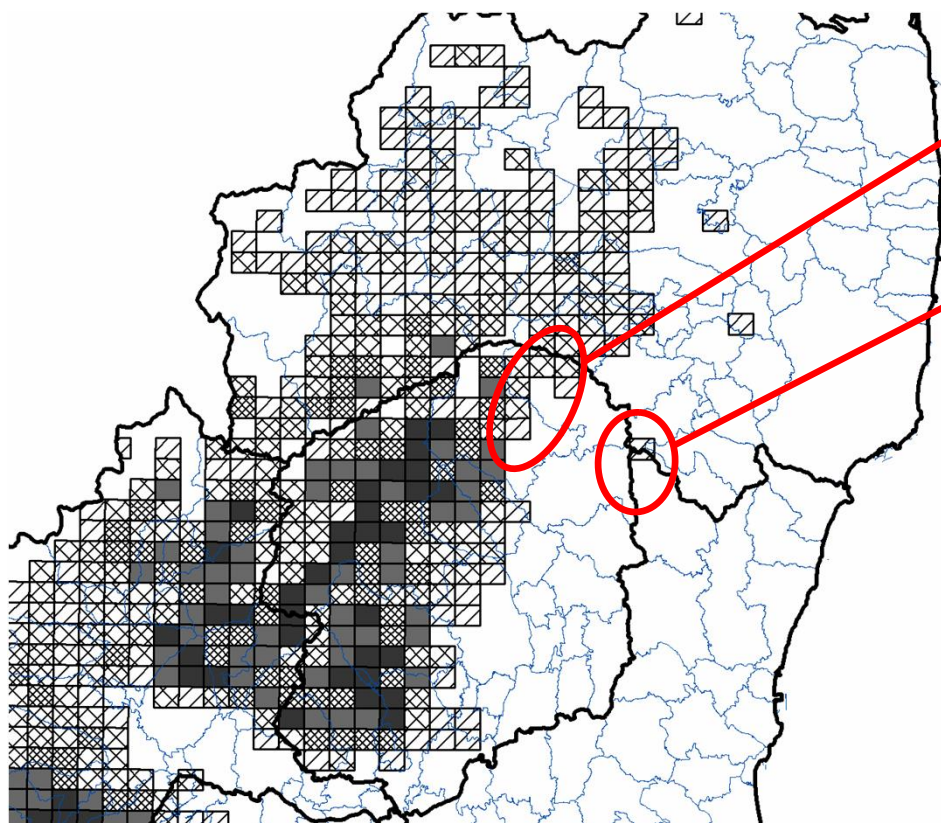
シカ低密度地域の対策^{F I T} (福島茨城栃木連携捕獲協議会)

- ・糞塊密度調査と、糞塊ルート上のカメラ調査を継続
→ 出没頻度の変化、雌雄の割合の変化
- ・関係機関の情報集約
- ・GPS発信機の装着



シカ低密度地域の対策^{F I T} (福島茨城栃木連携捕獲協議会)

- ・分布拡大防止のためのくくりわな・囲いわな猟
- ・侵入地域での忍び猟(コール猟も組み合わせ)
→待ち受け型であるわな捕獲は困難



くくりわな・囲いわな

忍び猟(コール猟)



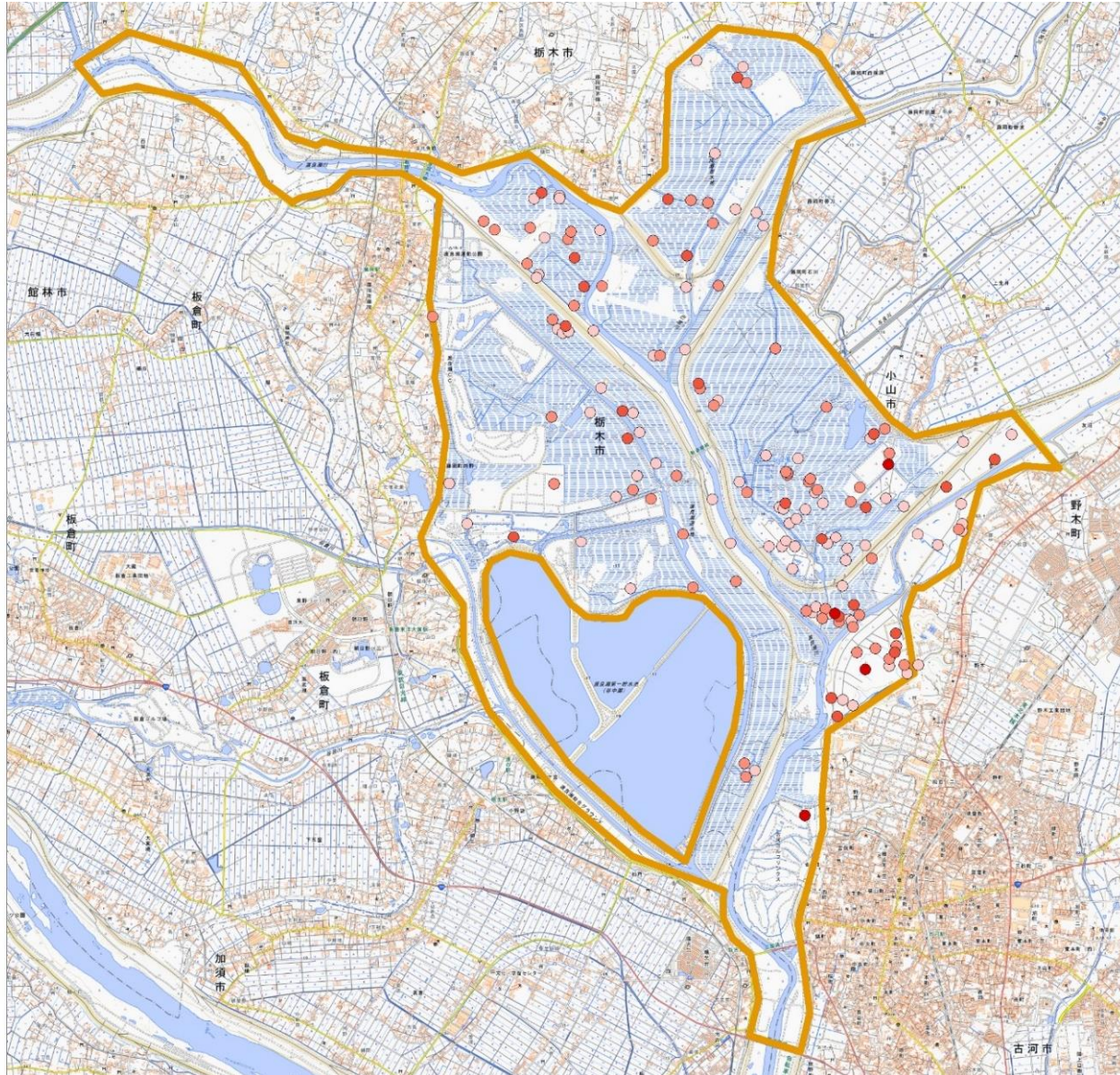
遊水池のイノ・シカ対策^{W A T}(渡良瀬遊水地連携捕獲協議会)



約3,300haの遊水池



遊水池のイノ・シカ対策^{W A T}(渡良瀬遊水地連携捕獲協議会)



ドローンによる夜間調査
イノシシ488頭

おまけ



イノシシ鼻くくりわな販売開始



宇都宮大学と(株)鎌田スプリングの
共同開発